

第77回 県下児童生徒理科自由研究発表会実施要項 (令和6年度)

[1] 趣 旨

児童生徒の理科に関する自由研究の優秀なものを広く県下に発表し，自由研究の正しいあり方を示し，その奨励をはかる。

[2] 研究題目および内容

- ・理科に関するものであれば自由である。
- ・研究の内容は児童生徒の発達段階にふさわしいものであること。

[3] 発表会期日

令和6年10月20日（日）

中学校の部 9：30受付開始 10：00開会式

小学校の部 13：30受付開始 14：00開会式

[4] 発表会場

山梨県立科学館 多目的ホール （山梨県甲府市愛宕町358-1）

[5] 参加者

- ・小学校4年生以上の児童及び中学校の生徒で，各郡市における発表会の結果優秀なもの。
- ・郡市ごとに小学校4・5・6年各1題目，中学校2題目を参加させる。ただし，富士吉田地区，都留地区は小学校4・5・6年各1題目，中学校1題目とする。

[6] 参加者の旅費

参加者の旅費は負担しない。

[7] 入館料

- ・発表児童生徒と引率者1名までは無料。
- ・引率者が2名以上の場合，2人目からの入場料は以下の通りとする。

一般・大学生	520円
小・中・高校生	220円
65歳以上・未就学児	無料

[8] 発表の方法

- ・発表は小学校4年の部，5年の部，6年の部，中学校1部，中学校2部に分けて行い，1題目の発表時間は準備の時間も含めて15分。
- ・模造紙，提示用ソフト等を使用して発表する。尚，以下の機器は全発表ブースに一つずつ事務局で準備しておく。

- ・大型モニター または 大型スクリーン
- ・HDMI ケーブル
- ・書画カメラ

発表用パソコンの用意はないため，パソコンを使用する場合は，参加者が必ず持ち込むようにする。また，事前に，当日発表する端末で大型モニター等にHDMIケーブルで映るか確認しておく。

※研究発表集録を編集するので，A4用紙3枚以内，43字×36行（写真および，図版含む）に題目，発表者名，発表要旨を書き，発表当日提出すること。【提出はCD-Rに入

れて提出します。ただし、いただいたデータは返却できません。また、CD-Rに入れた原稿をA4の用紙にプリントアウトしたのもも提出してください。】

[9] 審査の方法および賞状

(1) 審査の方法

- (ア) 各学校において第一次選考をおこなう。小学校4・5・6年から各1題目、中学校2題目を選考し、支部の発表会に参加させる。
- (イ) 支部において同様の選定を行い、郡発表会の参加者を決定する。
(ただし、支部の発表会は、省略することができる。)
- (ウ) 郡において同様の選定を行い、県発表会参加者を決定する。
- (エ) 審査には主催者側の委嘱する委員がこれに当たり、発表直後、講評をおこなう。なお、県発表会当日の審査員の分担は、後日調整して決定する。

(2) 賞状

県発表の参加者には賞状を贈る。各地区大会の参加者には賞状を贈る。ただし、共同研究の場合は1枚とする。

[10] 評価基準

(1) 題材の適否

- (ア) 子ども自身の問題としてとらえているか。
- (イ) 子どもの身近なものととらえているか。
- (ウ) おとなからみればわかりきったもの、ありふれたものであっても、子どもからみれば立派な研究テーマであるというもの。

(2) 研究の方法

- (ア) 子どもが中心になって研究の計画がたてられているか。
- (イ) 子どもらしい見方、考え方が行われているか。

(3) 研究の態度

- (ア) 自分から解決しようとして研究しているか。
- (イ) 楽しんで研究しているか。

(4) 研究の努力

- (ア) 根気よく研究を続けたか。
- (イ) 子どもらしい努力がなされているか。

(5) 研究の成果

- (ア) まとめ方はよいか。
- (イ) その結果は自分のものとなっているか。
- (ウ) 発表の仕方に研究の過程があらわれているか。

[11] 申込期日

各学校，支部，郡市においては，研究部その他の部の事業として発表会を実施し，9月27日（金）までに，郡市名，校名，学年，氏名，研究発表題目等を，指定の報告書（理事役員マニュアルの中にあり）にてメールで報告する。

[12] 主 催 山梨県小中学校理科教育研究会
後 援 山梨県教育委員会，山梨県立科学館（予定）

[備考] 地区は次の10地区とする。

- | | |
|--------|--------|
| ①甲府地区 | ②東山梨地区 |
| ③笛吹地区 | ④峡北地区 |
| ⑤中巨摩地区 | ⑥峡南地区 |
| ⑦北都留地区 | ⑧都留地区 |
| ⑨南都留地区 | ⑩吉田地区 |